辰野町行政評価システム

補助金評価シート（平成22年度実績分）

（1） 補助金事業の名称・位置づけ 〔Plan1〕

白色のセルのみ入力してください。（コメントを見ながら入力）

事務事業コード	事務事業名（補助金名）	担当課	担当係名	所属長（課長等）名	担当者係長名
96004	羽北道路改良委員会	建設水道課	建設管理係	漆戸芳樹	唐澤幸茂
		一次評価年月日	平成 23 年 6 月 15 日	連絡先〔内線〕	2163

補助金事業実施の根拠・位置づけ					
予算における位置づけ（会計区分・事業コード・事業名）	会計区分		事業コード	事業名（歳出予算見積書）	
	☒ 一般	☐ 特別	0801	土木総務事務	
	☐ 一般	☐ 特別			
第四次総合計画後期基本計画の施策体系における位置づけ	章	（コード選択）	3章	夢のある地域形成	
	節	（コード選択）	3節	町の基盤を整備する	
	項〔基本施策〕	（コード選択）	311	計画的な土地利用	
	主な取り組み	（コード選択）	3314	国道153号、県道伊那辰野（停）線、下諏訪辰野線等の改良促進	
関連する計画等への位置づけ	☒ 第四次行財政改革大綱	☐ 3ヶ年実施計画	☐ 主要業務報告	☐ その他	
補助金の期間	☐ 単年度	☒ 継続 （開始）	20 年度 ～ （終了予定）	30 年度	
補助金の性質	☐ 事業費補助	☒ 団体運営費補助	☐ 大会運営費補助	☐ 利子補給	☐ その他（ ）
補助金の交付基準	☐ 法令	☐ 条例規則	☐ 要綱 等	☐ 契約書 （規則等の名称： ）	
補助金の算定方式	☒ 予算補助	☐ 決算補助	☐ 定率補助	☐ 定額補助	
補助金の財源内訳	☒ 町単独補助	☐ 国・県補助あり	（ 町 ／ 10 ）	（ 県 ／ 10 ）	（ 国 ／ 10 ）

（2） 補助金事業の内容（目的と手段を把握します。）〔Plan2〕

①対象（**～に対して**）・・・・・・この補助金事業はどんな人（誰・何）を対象に行っていますか。

☒ 一部事務組合等　☐ 公益法人　☒ 企業や団体　☐ 個人

（ 交付団体名 ： 羽北道路改良委員会 ）

②目的（意図）（**～という状態にするために**）・・・・・・この事務事業のサービスを提供することによって対象をどういう状態にしたいのですか。

羽北地区の国県道等の幹線道路の渋滞解消と交通循環の利便に対して、道路懇談会を行い、道路の在り方を探り道路網の整備計画を作成し住民説明を行った。本年は事業の促進に対して、羽場交差点の地域説明会・関係者説明会。春日街道の先線延長と伊北インター接続道路の早期着手を県に要請。地域住民及び関係者の理解と協力の呼びかけのを行う。

③手段（事業内容）（**～を行う**）・・・・・・上記①の対象に対して、どのような手段で②の目的（意図）を達成するか、事業の実施内容（サービスの概要）を記入します。

1	関係者の立場に立ち県・町とのパイプ役を行う。
2	国土交通省・長野県等に要望を行う。

（3） 補助金事業の実績 〔Do1〕

区分			単位	実績値 21年度	実績値 22年度	計画値 22年度	計画値 達成率	最終目標年度 22	最終目標年度 年度（見込み）
①	指標名	会議の開催	回	5	8	6	1.33	8	
	説明	委員会・関係者説明会の回数	目標値設定の根拠	年2回の委員会と関係者及び打合会の年6回を見込む					
②	指標名	要望活動	回	2	2	2	1.00	2	
	説明	要望活動の回数	目標値設定の根拠	年2回を見込む					

（4） 交付額実績／計画の推移 〔Do2〕

		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
事業費（円）		100,000	100,000	100,000	100,000
補助率（町負担分）		100%	100%	100%	
町交付額（円）		100,000	100,000	100,000	100,000
財源内訳 特定財源	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源		100,000	100,000	100,000	100,000

		平成20年度 決算	平成21年度 決算	平成22年度 決算	平成23年度 見込み
人件費の概算	（千円）	1,520	425	387	288
対前年比	%		28	90.9	74.6

	課長 H21	課長 H22	課長 H23	課長補佐 H21	課長補佐 H22	課長補佐 H23	係長 H21	係長 H22	係長 H23	一般職員 H21	一般職員 H22	一般職員 H23	延べ人数 H20	延べ人数 H21	延べ人数 H22	延べ人数 H23	年間人件費	年間人件費	年間人件費	年間人件費
町職員（正規職員）	0.01	0.01	0.01	0.03	0.02	0.02	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.16	0.05	0.04	0.03	1,520	425	387	288
臨時職員	人数及び人件費の算出は別シートで計算となっています。（人件費計算式）シート									0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0

（5） 補助金の効果の評価 〔Check〕

必要性	町民のニーズ （団体の活動が町民に求められているか）	A	A 町民のニーズが大きい B 町民のニーズが少ない、又は町民のニーズがない 〔理由〕	
	社会情勢上必要か	A	A 社会情勢からみて実施すべき事業である B 社会情勢からみて、既に役割を終えた事業である 〔理由〕	
目的妥当性	この補助金は広く町民のためになっているか？	A	A 広く町民のためになっている B 特定の者に限定して利益がある 〔理由〕	
	この補助金の支出は、町が税金を投入して行うべき事業ですか	A	A 税金を投入して行う事業である B 税金を投入する以外の方法について検討の余地がある 〔理由〕	
有効性	事業の効果が具体的に把握できているか	A	A 具体的な成果を数値等で明確に示すことができる B 具体的な成果を示すことは困難である 〔理由〕	
	補助金を交付することで期待された成果は得られましたか	B	A 期待した以上の成果があった B 期待したとおりの成果があった C 期待したほどの成果が得られなかった D 成果が少なく今後も向上する見込みがない 〔理由〕	
公平性	対象者すべてに補助金が交付されているか	A	A すべての対象者に交付されている B 一部の対象者に交付されている 〔理由〕	
その他	これまでに見直し実績はあるか	B	A 今までに補助金について見直しを行った B 見直しを行ったことがない 〔理由〕	羽場地区の交通渋滞を解消に向けての道路整備推進団体として必要である
	補助金等の交付により町にどれだけメリットがあるか		大規模計画の道路建設事業は地域との連帯が必要です。それには推進団体があることにより多大な利点があります。	

（6） 改革改善 〔Action〕

今後の方向性（上記評価結果をもとに今後の方向性を記入します。） **口を一つチェックしてください。**

☒ ア. 現状のまま継続する　☐ イ. 見直しのうえで継続する　☐ ウ. 終期設定　☐ エ. 廃止　☐ オ. 休止

〈今後の展開方針〉（イを選択した場合のみ口を一つチェックしてください）

☐ a 増額する
☐ b 減額する
☐ c その他（隔年対応等）

（ウ・エ・オを選択した場合のみ記入してください）

時期（年度）	

事業の方向性の具体化

（誰が、何を、いつまでに、どうするか（5W1H）等の改革改善案を記入します。）	23年度予算見積書への反映 ☒ あり ☐ なし
委員会は、交通緩和対策及び事業促進を図り、道路交通網の整備による経済的流通と住民福祉の向上に寄与するため、調整及び要望活動を行います。	〔反映内容〕 羽場地区の交通渋滞を解消に向けての道路整備推進団体として必要であります。

（7） 所属長 所見 （事務事業の総合評価及び今後の方向性について）

（評価事務事業の責任者の意見として、総合的な評価に関する所見を記入します。）	上位の施策の推進に貢献していますか。口をチェック
羽北地区は道路建設、道路改良等が今後予定されている地区のため、地元用のパンフレットを作るなど有効に活用している。事業が軌道に乗ったら見直しは必要であるが当面継続していく必要がある	☐ A. 貢献度 大　☐ D. 上位施策なし ☒ B. 貢献度 中 ☐ C. 貢献度 小

（今後の方向性 口を一つチェックしてください。）

☒ ア. 現状維持　☐ イ. 見直しのうえで継続する　☐ ウ. 終期設定　☐ エ. 廃止　☐ オ. 休止

☐ 上記 a ～ c を選択